

第1回北上市史編さん委員会会議録（要旨）

日時：平成27年7月23日（木）午前10時～11時50分

場所：北上市役所 庁議室

出席者

市長

委員：9名

オブザーバー：1名

事務局

次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 編さん委員長の互選及び職務代理者の指定
- 4 報告
 - (1) 編さんに係る経過説明
 - (2) 旧三市町村史の概要
- 5 協議
 - 北上市史編さん基本計画作成について
- 6 その他
- 7 閉会

内容

- 1 委員の委嘱及び委員長の選出
 - (1) 委員の委嘱
開会前に市長より出席委員9名に委嘱状が交付された。
 - (2) 編さん委員長の互選及び職務代理者の選出
推薦により編さん委員長に及川副市長が選出された。
及川副市長により職務代理者に和賀篤子氏が選出された。
- 2 会議の概要及び主な意見
 - (1) 報告
編さんに係る経過説明と旧三市町村史の概要を事務局から報告した。
【主な意見】
 - ・資料が散逸する危機にあるというのは具体的にどのようなことが挙げられるのか。
⇒市史に掲載している資料が散逸していることや、世代交代により所蔵している資料に対する価値観が変化していることが挙げられる。

- ・和賀町史編さんの時点で2次資料しかない状態だった。今回の編さん事業で原本など1次資料が出てくるかもしれない。
- ・民俗調査の中で歴史資料が出てくることもある。この機会に芸能に関する文書も取り上げてもらいたい。

(2) 協議

北上市史編さん基本計画について、事務局よりたたき台となる計画案を提示し、それに対し自由な意見を求めた。

【主な意見】

①基本方針について

- ・分かりやすい市史をつくるのが大前提。専門用語を言い換えるなどの工夫が必要。
- ・市民がどのような市史を求めているのかという視点も必要である。
- ・将来を見据えた媒体にする。
- ・旧市町村史の時代はとにかく資料収集が優先され、分かりやすさは二の次だった。この傾向は全国的にいえることで、分かりやすさを求められているのはその反省からである。
- ・市史の読者が北上市を誇りに思える内容にするべき。
- ・専門用語の解説書を作ったらどうか。
- ・教科書の副読本のようなものがあればいい。

②資料の収集・保存について

- ・学校にある永年保存資料は明治以降のものである。個人情報に関する資料は残されていない。
- ・市史に掲載する資料も掲載しない資料も永久保存するべき。
- ・将来を見据え、資料を収蔵する場所・人員を視野に入れてしっかりした体制づくりを進めなければならない。それを念頭においた資料収集をする必要がある。
- ・他市ではどのような資料収集を行ったのか。
⇒悉皆調査を行っていた。資料には民間所蔵のものや行政資料などがあり、莫大な数の資料が収集されていた。
- ・資料の所蔵者が寄贈したくなる整理・保存をすることが大事である。

③市民への周知について

- ・市民への意識啓発をするために周知事業は行うべき。
- ・広報への掲載は毎号やるべき。資料を収集する意義が分かるように資料の具体例を出すなどの工夫が必要である。
- ・自分の地域を知りたいという要求はあるので、収集した資料の紹介などをするべき。
- ・資料を所蔵していても、それをどこへ持っていけばいいのかわからない方もいる。